

酒パブリックリサイクル促進協議会便り

Vol.32 令和7年1月31日

発行：酒パブリックリサイクル促進協議会



総会の様子
工場見学を実施いたしました。

令和6年7月23日、ホテル日航大阪に於いて第17回定期総会を、24団体36名の参加の下開催いたしました。令和5年度の事業報告の中では、昨年度2年ぶりに対面での定期総会が開催出来、また3年ぶりに広島で地方会議を行い、地元酒造メーカーの見学会が復活するなどコロナで停滞していた活動が徐々に復活してきている状況が報告されました。ただ前回総会以降のこの1年間に会長はじめ運営委員のメンバーも大幅に代わったこともあり、今期は新たなスタートと位置づけ、新メンバーで新たな一歩を踏み出していくことが確認されました。

永らく当協議会の会長をお勤めいただいた亀井慶承氏が退任、新たに永田武氏が会長に就任、また運営委員も5名の変更があり、下記の新体制となりました。

総会の後第45回情報交流会を開催、大和板紙本社工場のOnline工場見学を実施いたしました。

酒パブリックリサイクル促進協議会

令和6年度第17回定期総会

酒パブリックリサイクル協議会 会長就任のご挨拶

この度、前任の亀井から引き継ぎを受け、酒パブリックリサイクル協議会会長(日本酒造組合中央会理事)に就任いたしました。皆様のご支援、ご助言を賜りながら、協議会の円滑な運営に努めてまいりたいと思っておりますので、亀井同様、よろしくお願いたします。

酒パブリックリサイクル協議会は、酒パブリックに関わる幅広い事業者により発足され、情報交換等を通じて長年にわたり活発に活動されております。今般、そのような歴史ある協議会に参加させていただける機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。近年、容器包装のリサイクルの推進は益々注目されておりますので、会員企業の皆様とともに当協議会の活動内容の充実を図り、酒パブリックのリサイクルが更に推進されるよう取り組んでまいります。

最後に、皆様方のご協力のもと、酒パブリックのリサイクルを通じて循環型社会が形成されていくことを祈念して、就任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

永田 武

退任のご挨拶

暖かい春の日差しを感じる季節となりました。私こと、この春、日本酒造組合中央会の理事を退任することとなり、酒パブリックリサイクル促進協議会の会長を交代することとなりました。会長在任中は、皆様には大変お世話になりました。皆様の支えのもとで、何とか職責を果たすことができましたことを感謝申し上げます。

総会や地方会議・見学会等、皆様と一緒させていただき、情報交流をさせていただいたことは貴重な体験でもあり、楽しい思い出です。

改めて申し上げますまでもなく、酒パブリックリサイクル促進協議会は、「酒パブリックに関わる事業者が、主体的にリサイクルの推進に関わっていくことを目的」に発足した団体であり、酒パブリックリサイクルに関する民間の受け皿としての活動が引き続き期待される所です。今後は、永田会長のもと、皆様方の協力を得て、積極的な会活動が行われますことを期待しております。

最後に、酒パブリックリサイクル促進協議会の益々のご発展と、皆様方のご事業のご繁栄、ご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

亀井 慶承

写真は第44回情報交流会「東京会議」での様子



酒パブリックリサイクル促進協議会 組織体制

会長	永田 武
副会長	水谷 仁
運営委員	荒木 秀高 大山 武男 岡本 直久 小山 譲治 小山 本家酒造 國弘 武嗣 桜井 武人 佐原 弘師 竹田 剛史 (TOPPAN) 豊丸 健吾 真鍋 智彦 中川 道弘 (宝ホールディングス) 中川 道弘 (日本酒造組合中央会)
監査役	船戸 正義
事務局	西田 克彦
【専門部】	
広報部	道弘(宝ホールディングス)
調査部	武嗣(大日本印刷)

●酒パブリックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- | | | | | | | | | |
|--|--|---------------------------|------|------|------|------|--|-------------------|
| 1 日本酒造組合中央会 (東京都) | 15 三和酒類株式会社 (大分県) | 27 大日本印刷株式会社 (東京都) | | | | | | |
| 2 雲海酒造株式会社 (宮崎県) | 16 高千穂酒造株式会社 (宮崎県) | 28 東京製紙株式会社 (静岡県) | | | | | | |
| 3 オエノンホールディングス株式会社 (東京都)
(合同酒精・福德長酒類 他) | 17 高橋酒造株式会社 (熊本県) | 29 TOPPAN株式会社 (東京都) | | | | | | |
| 4 大口酒造株式会社 (鹿児島県) | 18 宝ホールディングス株式会社 (京都府) | 30 日本製紙株式会社 (東京都) | | | | | | |
| 5 大関株式会社 (兵庫県) | 19 辰馬本家酒造株式会社 (兵庫県) | 31 日本テトラパック株式会社 (東京都) | | | | | | |
| 6 関西ボトリング株式会社 (兵庫県) | 20 中埜酒造株式会社 (愛知県) | 32 北越パッケージ株式会社 (東京都) | | | | | | |
| 7 菊正宗酒造株式会社 (兵庫県) | 21 日本盛株式会社 (兵庫県) | 33 紙製容器包装リサイクル推進協議会 (東京都) | | | | | | |
| 8 黄桜株式会社 (京都府) | 22 白鶴酒造株式会社 (兵庫県) | 34 一般社団法人全国清涼飲料連合会 (東京都) | | | | | | |
| 9 霧島酒造株式会社 (宮崎県) | 23 平喜酒造株式会社 (岡山県) | 35 王子ホールディングス株式会社 (東京都) | | | | | | |
| 10 月桂冠株式会社 (京都府) | 24 伏見清酒パブリック協同組合 (京都府) | 36 コアレックス信栄株式会社 (静岡県) | | | | | | |
| 11 小西酒造株式会社 (兵庫県) | <table border="0"> <tr> <td>北川本家</td> <td>齋藤酒造</td> </tr> <tr> <td>豊澤本店</td> <td>都鶴酒造</td> </tr> <tr> <td>山本本家</td> <td></td> </tr> </table> | 北川本家 | 齋藤酒造 | 豊澤本店 | 都鶴酒造 | 山本本家 | | 37 大和板紙株式会社 (大阪府) |
| 北川本家 | | 齋藤酒造 | | | | | | |
| 豊澤本店 | | 都鶴酒造 | | | | | | |
| 山本本家 | | | | | | | | |
| 12 株式会社小山本家酒造 (埼玉県) | 25 印刷工業会 (東京都) | 38 株式会社田中商店 (熊本県) | | | | | | |
| 13 薩摩酒造株式会社 (鹿児島県) | 26 石塚王子ペーパーパッケージング株式会社 (東京都) | 39 株式会社トベ商事 (東京都) | | | | | | |
| 14 沢の鶴株式会社 (兵庫県) | | 40 株式会社日誠産業 (徳島県) | | | | | | |
| | | 41 靖国紙料株式会社 (大阪府) | | | | | | |

事務局・特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 (大阪府)

(参加数:41団体・企業)

「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費：1口 50,000円 (口、 円)

年会費は、紙パック酒出荷数に応じて下記のように設定しています。(平成28年3月改訂)

- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本未満 1口 50,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本以上1,000万本未満 2口 100,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、1,000万本以上 5口 250,000円

※なお、酒造メーカー以外の会員様の年会費は、1口 50,000円です。

記入日		
会社名・団体名		
所属・役職名		
担当者名		
住所	〒	
電話・FAX番号	TEL	FAX
メールアドレス		

*FAX(06-6271-8666)でお申し込みください。追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。ご不明な点がございましたら、事務局：集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会
事務局：NPO法人 集めて使うリサイクル協会
大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル9階
TEL 06-6271-8665 FAX 06-6271-8666

第44回情報交流会「東京会議」

令和6年3月19日
日本酒造虎ノ門ビル

令和6年3月19日日本酒造虎ノ門ビルに於いてWeb参加を含め25団体企業32名により、第44回情報交流会「東京会議」を開催いたしました。その中での講演内容を報告させていただきます。



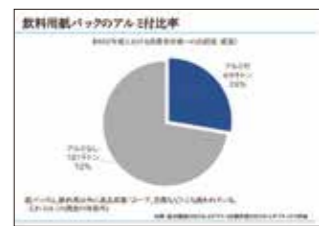
東京会議の様子



有馬氏【講演】の様子



スライド2 飲料用紙パックのアルミ付比率



スライド1 飲料用紙パックのアルミ付比率

アルミ付き紙パックの「マテリアルフロー」(2022年度実態) アルミ無し酒パックの回収率も含めて

株式会社ダイナックス 都市環境研究所 主任研究員 有間俊彦氏



飲料用紙パック総量約25万トンのうちアルミ付紙パックは約6万9千トンで約4分の1強となります。

飲料用のアルミ付紙パックは、主として果汁・清涼飲料に使用され75%を占め、アルコール飲料には17%が使用されています。リサイクルの状況を見ても、紙パックメーカーや飲料メーカーから排出される紙はほぼ100%リサイクルされています。

一方家庭等から出る使用済みアルミ付紙パックのリサイクルについては、行政回収・店頭回収・集団回収などの一部チャネルで回収されているものの、まだまだ一般に周知され実施されるまでには至っていません。結果、工場損紙を含める



スライド3 現在酒パックはアルミなし販売量の方が多くなっている

とアルミ付紙パックのリサイクル率は14.8%になるものの、使用済みアルミ付紙パックに限ってみると回収率は、現在わずかに3.4%という状況です。生活者や事業者、自治体に向けて、アルミ付がリサイクル可能であることを引き続き情報発信する必要があります。

印刷工業会液体カートン部会とダイナックス都市環境研究所との調査では、アルミ付アルミなしの紙パックを混合収集している回収物の組成分析調査を行い、アルミ付の比率を見、酒パックの回収量を推計することにより回収率を導き出しています。

試算による酒パック回収率は、アルミ付で5.7%、アルミなしで13.0%合計で9.7%となります。現在酒パックはアルミなし販売量の方が多くなっていますが、全体のアルミ無し紙パックの回収率(29.4%)と比較しても、まだまだ低い数値にとどまっています。

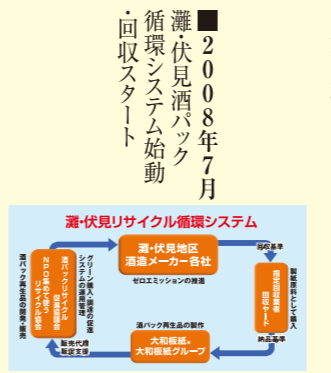
第44回情報交流会 酒パックリサイクル促進協議会の歩み

会長を含め運営委員や酒促進協の各社担当者がここ数年で大幅に交代したため、これまでの酒促進協の活動について改めて情報を共有すべく、これまで20数年の歩みを振り返り、その中でポイントとなる活動内容を確認しました。

■2002年10月31日 第1回酒パックリサイクルリング問題研究会 参加...20社25名 於...銀座プロサム中央会館

■2007年9月12日 第1回酒パックリサイクル促進協議会 設立総会 参加...30社51名 於...大阪市立総合生涯学習センター 酒促進協便り「VCO」

■2008年6月17日 第1回定期総会 情報交流会 参加...26社39名 於...梅田スカイビルタワーウエスト



■2008年7月 第1回酒パックリサイクルアンケート調査実施(調査部会)

■2009年9月 酒アルミ付き紙パック循環システムマーク制定

■2013年10月 「乾杯条例」が各地で続々成立する動きに呼応。「日本酒で乾杯」 「20」瓶用カートンを会員16社により制作

■2014年10月 酒促進協ホームページ全面リニューアル(協力...広報部会) 会員専用ページ 設ける

第45回情報交流会「大阪会議」

令和6年7月23日
ホテル日航大阪

令和6年7月23日ホテル日航大阪での、第17回定期総会閉会後引き続き同会場で、第45回情報交流会を開催いたしました。その内容を報告させていただきます。

2023年度 酒パックリサイクルに関するアンケート調査結果

今回のアンケートでは、会員23社32工場、非会員22社から回答があり、その結果について報告させていただきます。

2023年度の会員原紙使用重量は約15,000トンで、前年に比べ大幅に減少。酒パック使用量の会員カバー率は59.2%と4.5ポイント減少しました。そのこともあり会員の損紙発生量も前年に比べ23トンほど減少し、産廃に回る量も6トン減少しています。



調査部・国弘部長

〈酒促進協会員23社の使用量〉

● 仕様別使用量
アルミ付 118,751,618本 (6,137,885kg)
アルミなし 132,015,853本 (9,038,264kg)

合計 250,767,471本 (15,176,149kg)

全国で流通する酒パック総量

(2022年度紙パックメーカー総販売重量はダイナックス都市環境研究所調査結果より転用) ●25,623,000kg(アルミ付) ●10,388,264kg(アルミなし) ●15,176,149kg

2019~2023年の比較調査結果

Table with 5 columns: Year (2019-2023), Filling weight (ton), Recycled weight (ton), Recycling rate (%).



オンライン工場見学



オンライン工場見学会

大和板紙株式会社 東京営業所 所長 網野氏



大和板紙HP

今回は初めての試みとして情報交流会会場と大和板紙工場をネットで繋ぎ、リアルタイムで板紙製造の工程を工場各所から案内していただきました。大阪府柏原市にある大和板紙では、2008年から灘伏見地区の酒造メーカーの工場損紙を原料とし受け入れ、酒パック循環システムを支えています。

灘伏見地区循環システム

工場から出る酒パックの充填損紙を、再生資源としてリサイクルする。灘地区伏見地区での取り組みはスタートから15年変わらず順調に機能しています。

近年の生産量減少に伴い昨年度の酒造メーカーからの損紙回収量は、灘地区7社39トン、伏見地区4社26トンと両地区共に過去最少となりました。

また九州地区での酒造メーカーの損紙についても、共通システムでの回収は4社ほかで54トンが製紙原料として回収されました。

令和6年度 活動報告

酒パック再生品制作実績

酒パック再生品の積極的な活用が見られ、昨年度は7社から左記の通りの制作報告を受けています。

2折立体メッセージカード、再生紙日1ポスター、貯金箱、手提げ袋、灘地区輸送用天パット制作の紹介と制作数リスト



大阪会議の様子... 結果としてリサイクル率は88.3%と前年より約6ポイント向上しました。